

〔封筒〕消印 なし

表… 宇井 縫蔵様

南方熊楠再拝

裏… 封

〔本文〕

(明治) 四十四年八月二日

宇井君

南方拝

牧野氏より返事の立山植物の名難有拝受仕候。

右立山植物は、一本しかなしと記せるものの外は、多少づつ毎品貴方へ御入用の分御取り被下候儀と存候。もし然らざりしならば

前日差上候目録(名前分明にて牧野氏へ送らず小生方に

標本多きもの^[4]の^[4]中御入用の分と共に御記し付御廻被下候

はば、追ひ追ひ見出し揃え、少しづつなりとも御送り可申上候。

牧野氏より来状昨日着、大意要用の処申上候。

神島のスゲは「カレツキス、マツムラエ」*Carex matsumuræ* Franch.

にて、フランシエー(仏人)が十数年発表せるものなり。松村氏紀州に

採収(明治十八年 熊楠)古座の黒島²にて採る。二十七八年頃フラー

リエー氏が大学に來りしとき、松村氏より標品を受けフランシエーに転致

¹ フランスの植物学者 A.R.Franchet(フランシエー)(1834-1900)のフナカ

² 和歌山県東牟婁郡串本町の九龍島

して調べしなり。然るに手扣^{〔つか〕}えを留めざりしと見え、大学には現に標品なし。今此に貴下により善完なる標品を得しを喜ぶ云々。

植物名鑑^{〔ラテン〕}（松村氏の）巻二には右の羅甸名は磨抹され、「サツマスゲ」と同一品としあり。然しこれは標品を見ぬ人がせしことと見え候（熊楠）。

もし「サツマスゲ」と一品ならば、牧野氏より特に此スゲを求めらるる筈なし。「サツマスゲ」は土佐、対馬、九州にあり。

エビネ^{〔カ〕}二品は固より同一種に御座候。只其緑花の方は其一変種にて、ヤブエビネ *Galanthe discolor* Lindl. Var. *Viridialba* Maxim. に候。

熊楠曰く、エビネ、小生見る所はいつも黄褐色の花さく。又書物にも然あり。然るに此下秋津のと同品を那智で得たるを牧野氏は「エビネ」と附記せり。

今回のも亦エビネとあれば、^{〔カ〕}草木図説にいへる如く花色定らざるものと見え候。牧野氏の文簡にして定かならねど、前後を推すに、色淡き方（少々帯緑）乃ち貴下の庭に栽えある方がヤブエビネなるべし。

又小形の蘭は極めて珍品にて御座候。此品は曾て土佐にて吉永虎一^{〔カ〕}氏

採集し、数年前小生の手許へ送り呉れ、乃ち新学名を *Saccolabium*^{サッコラビウム}

Toramanum Makino^{トラマヌム}（マツラン）、ベニカヤラン及カシノキランと同属）と命じ

植物学雑誌第十九巻に記載しあり。今回更に貴下より其標本を得て、殊の外喜びに不堪候。殊に宇井君より御画きの写生図も送られ、又充分開きたる花が標品に附着有りて、近き内に小生の記載文を増補する機会を得、愉快に存候。小生の記載せし時其花は尚ほ蕾なりしを以て、記載はせし物の充分開きた

³ 松村任三『帝国植物名鑑』（丸善、明治三十八年）。

⁴ 吉永虎馬 高知県高岡郡出身の植物学者 高知高等学校教授。

⁵ 椋蘭（モミラン）

る花

とは多少其大小形状を異にすと存候。貴下の標品により之を訂正するを得べしと喜び居候。和名モミラン、吉永氏所命に候。

一種のスミレ（前日御覧に入れし最小のもの、白花萼紫色の点あり）はフモトスミレ

と殆ど同種なれど、葉面に毛多き点相異あり。

ウワイヨラ キイエンス
Viola kiensis

（紀州スミレ）とす。標品を返戻せねは成ぬ故、記載を得ず云々。

サルスベリ、サルタノキ、サルナメリ、アカラギ杯いふは（栗山昇平。氏

サカタイニ川村坂泰にて見出し、果実をとるに大に苦みしもの、那智山にも多く

拾子谷〔候〕にもあり）山茶科のヒメシヤラノキなり云々。

徳川頼倫〔侯〕候を大磯別荘に訪ひし序でに小生の事も話し出候由附記しあり。

。栗山寛一の実兄。明治二六、二七年に八上神社の植物標本を作った（檜山嘉一宛、昭和九年三月二十六日付より）。

。西牟婁郡近野村（現田辺市）

【参考】熊楠日記

・明治四十四年四月二十四日条

「午後三時半前小学校に之、岩間鶴三郎氏及今一人とつれ、下秋津村岩間氏宅辺の竹林に入り、エビネとる。二様あり、一は少く、花卉白【図 此処】、一は多くあり、淡紅。」

・同年四月二十八日条

「宇井氏をへて牧野富太郎氏へ送るべき、川島友吉氏前年立山採集植物六十五点しらべる。」

・同年四月二十九日条

「夜九時過宇井氏を訪、川島氏集立山植物を牧野氏へ送る分托す。」

・同年五月二十六日条

「夜エビネ二本（花白、花赤、四月二十三日下秋津所採）、神島の大莎草八本斗り、書留小包として牧野富太郎氏へ送る。」

・同年七月二十九日条

「夕宇井氏使して立山植物（川島友吉氏集）の名牧野富太郎氏より知されし分、名をそへ送還。」

・同年八月一日条（受信欄）

「牧野富太郎状一、キシウスミレ音窪熊助発見、マツムラスゲ神島、マツラン、ヤブエビネ等の事返事来る」